



東京立川 ロータリークラブ

【司会進行】

SAA委員会 宮澤公栄委員

【開会点鐘】 中野裕司会長

【ロータリーソング斉唱】

『4つのテスト』

【お客様の紹介】 中野裕司会長

【会長挨拶】 中野裕司会長

【会葬御礼】 大竹茂明さん

【幹事報告】 田中 太幹事

【委員会報告】

職業奉仕委員会 中山賢一委員長

青少年奉仕委員会 木村真人委員長

【ニコニコ発表】

親睦委員会 益子悦雄委員

【出席率の発表】

出席委員会 金原宏和委員

9月29日(金)	会 員 数	108名
	出 席 義 務 会 員	102名
	出 席 免 除 会 員	6名
	当 日 出 席 者	85名
	出席免除会員の当日出席者	1名
	出 席 率	82.52%
	9月8日の出席率	85.58% → 96.15%
9月15日の出席率	83.65% → 96.15%	

【卓話講師紹介】

プログラム委員会 中島重夫委員

【卓話】

西武信用金庫理事長 落合寛司様

【閉会点鐘】 中野裕司会長

2017~2018年度 RIテーマ



ロータリー
変化をもたらす

2017~2018年度国際ロータリー会長 イアン H.S. ライスリー

2017~2018年度 クラブテーマ

Be surprised!! Rotary!

「感動を忘れずに!」

東京立川ロータリークラブ
会長 中野裕司



例会時には必ずバッジをつけましょう

Weekly Report

2017.9.29 第2764回 例会



【会長挨拶】 中野裕司会長

今日は9月最後の週なので、「Phrase of the day」の時間としたいと思います。7月の最終例会でお伝えした「Keep company with」にちなんで、「keep」を使った熟語を今日もお届けしたいと思います。先日の全員クラブ協議会のアンケートで中島孝昌さんから好評をいただきましたので、また続けていきたいと思えます。それでは皆さん韻を踏みましょう。



中野裕司会長

“Let’s start the exercise”, Today’s Phrase is “Keep in touch with~”ここでの「touch」は、「何かを触る」という意味ではなく、「Keep in touch with」で、直訳すると「何々と接触を続ける」と訳しますが、言い換えれば「ずっと連絡しましょう」とか「また連絡しましょうね」と言うときに使います。このPhraseもネイティブの人たちは日常茶飯事に使いますので、覚えていると便利でしょう。別れ際に外人と手を振りながら、「Hey, Keep in touch, body!」なんていって声をかけたら、驚いてニコニコして、もしかしたら戻ってきてハグしてくれるかもしれません。ぜひチャレンジしましょう。もう一度忘れないで「Keep in touch!!!」That’s all for today. Have a good weekend. 「Hey, Keep in touch brother!!!」

【お客様の紹介】 中野裕司会長

〈卓話講師〉落合寛司様(西武信用金庫 理事長)

井上晴美様(甲府シティRC)

小田原 潔様(東京日野RC)

中野隆右様(東京立川こぶしRC)

森田善文様(東京立川こぶしRC)



司会進行
宮澤公栄委員



ニコニコ発表
益子悦雄委員



出席率の発表
金原宏和委員

【会葬御礼】 大竹茂明さん

先日は母の葬儀に際し、皆様大変お忙しい中を、中野裕司会長始め多くの皆様にご会葬頂きまして有難う御座いました。お陰様で無事に母を見送る事が出来ました。この場を借りて御礼申し上げます。

【幹事報告】 田中 太幹事

●21日(木)職業奉仕委員会・社会奉仕委員会の合同炉辺が、パレスホテル立川にて開催されました。●26日(火)東京三鷹RC創立50周年記念式典、記念講演、祝賀会が京王プラザホテル東京にて開催されました。当クラブより12名の参加を頂きました。●10月のロータリーレートは、1ドル=112円となります。●「ハイライトよねやま」を各テーブルに置かせて頂いておりますので、ご一読頂きたいと思っております。●温暖化対策として実施しております、クールビズですが9月末日をもちまして終了となります。次回例会から、ネクタイ着用にて例会への出席をお願い致します。●次週6日の例会は、立川こぶしクラブとの合同でガバナー公式訪問が開催されます。12:00より着席順でのお食事とさせていただきます。会場は、パレスホテル4階となりますので、お間違えのないようお願い致します。●先程、会葬御礼をされた大竹パスト会長より、当クラブに対して過分なご芳志をいただきました事をご報告申し上げます。



【委員会報告】

職業奉仕委員会 中山賢一委員長

昨日事務局からもFAXを入れさせて頂きました、優良職業人・社会奉仕功労者表彰ですが、10月27日の夜間例会になります。昨日お返事を頂きました方は改めての回答は結構です。現在優良職業人が19名、社会奉仕功労者が4名、合計23名の表彰者を迎える事が出来る予定です。皆様のお陰で例年通りの内容で開催出来ます事に感謝申し上げます。



青少年奉仕委員会 木村真人委員長

東京都立第五商業高等学校のインターンシップの受け入れに関してです。昨年同様13社の企業の方々に受け入れをして頂きました。この事業は今年で11年目でロータリーの事業として大変重要だと思っておりますし、この経験を基に未来に活躍される高校生が、ビジネスマナーの向上、責任感や協調性を持つ事の大切さを理解し羽ばたいて



頂く事が主眼であります。日程は11月14日から16日の3日間ですので、改めて個々に詳細をお知らせ申し上げます。

【ニコニコ発表】 親睦委員会 益子悦雄委員

- 東京立川こぶしロータリークラブ 森田善文様 こぶしクラブの森田です。メイキャップにきました。宜しくお願い致します。
- 甲府シティロータリークラブ 井上晴美様 ご無沙汰でした。年内にまた来させて頂きます。
- 中野裕司会長 本日は、西武信用金庫理事長 落合寛司様のご来訪を歓迎し、また卓話宜しくお願い致します。
- 田中 太幹事 本日の卓話講師、落合寛司様、ご来訪頂き有難うございます。演題「歴史的変革期における企業経営」のお話し、楽しみにしております。
- おやしき会 山口貞夫さん、清水千春さん、木村政人さん 落合寛司理事長のご来訪を歓迎します。本日の卓話楽しみにしております。たまには、ゴルフにお付き合い下さいませ。
- 安藤明義さん 西武信用金庫理事長、落合寛司様のご来訪を歓迎致します。
- 市原聖功さん 落合理事長様のご来訪心から歓迎申し上げます。また、お話し楽しみにしております。
- 小俣勝俊さん 落合理事長の卓話、楽しみにしています。
- 矢澤俊一さん 落合様、本日の卓話宜しくお願いします。一経営者として楽しみにしています。
- 金原宏和さん 日野ロータリークラブ会員、小田原 潔さんのご来訪を歓迎致します。

本日合計 45,000円 本年度累計 885,000円

【卓話講師紹介】 中島重夫委員

落合理事長は神奈川県のご出身で、1973年に西武信用金庫にご入行され、2002年に常勤理事、2005年に専務理事になられ2010年6月より現在の理事長職をされております。現在、内閣府経済財政諮問委員会政策コメンテーターも努められております。



「歴史的変革期における企業経営」 西武信用金庫理事長 落合寛司様

今日はお招き頂きまして有難うございます。資料としてご用意しなくてはいいけないのですが、公的機関の内容もある事から、今日は皆様に時代はこんなに変わっているの、自分たちが何かをしななければいけないのだという事だけ感じ取って頂きたく思います。例えば名古屋では、エンジンの自動車から電気自動車に変わると、名古屋はどう変わるのか、といったお題もあるのです。その他も多くのお話を頂いておりますが、この変革期はチャンスの時であり、ピンチにもなり得るという分岐点でありますので、この話をしたいと思います。今日は3つ



のテーマで進めていきたいと思えます。変革期に私たちの企業はこうしました、そして変革期における中小企業のあるべき姿をお話したいと思えます。変革期にはまず世界の経済が主役が変わった、少子高齢化で成長経済から成熟、また衰退に入るといふ事、そしてAIやビッグデータが本格稼働すると、産業構造が変わるといふ事です。まず世界の経済の主役が変わったといふ事です。先進国が世界の経済の主役の時、高くても良い物を作っていれば売っていましたが、新興国が世界の主役になった事で、安くなければ駄目といふ事になりました。これで産業の空洞化が起きて中小企業経営に大きなインパクトを与えており、デフレで企業の収益力が落ちているのです。そのために倒産や廃業が進んでおり、これで雇用が減り地域が疲弊して地域格差が広がるといふ事なのです。続いて少子高齢化ですが、年を追って高齢者を支える負担が増えており、これは若者の税負担が増えているといふ事で、国内需要が増えない中で高齢者が増えるといふ事で地域としてどのような事が起こるかといふと、2050年には20%の地域は誰も住まない町ができる、60%の町が住民が半分になる、この町で65歳以上の住民が70%を占めるといふ事になり、この町も無くなる可能性があるのです。先日新幹線に乗った際の雑誌で「捨てられる土地」といふのを見ました。もう日本の中で九州全土の1.2倍の土地が、誰が住んでいるのか分からない土地になってしまうといふのですが、これがどういふ事を起こすかといふと、税率格差になるのです。国は中央集権体制から地方分権体制にするとしていますが、これは現在の格差を作らないといふ体制から、地方で稼いだお金で町を運営して下さいといふ事を指すこのです。これによって高齢者比率が高い、人口が少ないといふ所は税率を上げるしかありません。固定資産税率や法人や個人住民税率を上げるしかないのです。これで一時的には改善されるかもしれませんが、儲かっている会社は移動してしまいます。私は中野区長にも区内は運営費の6割しか稼いでおりませんので、税率を上げるいふ事になれば、本社移動も考えると進言しております。こうなりますと地価が変わり地価の価値が変動するいふ事で、現在元気があるのは東京と名古屋です。このままですと現在1,800ある市町村が2040年には約900程度消滅する可能性があり、これが道州制に近づく事になります。住民の減少、税金の減少、財政の悪化、地域の破綻といふ事で地価の下落に伴い資産管理の見直しもする必要が出てきてしまうのです。地域活性化で人口増加といいますが、そんな事はあるはずがありません。日本の人口はこのままいくと明治後期の水準になってしまうのです。では何をすべきかといふと、一人あたりの生産性を上げる事が必要なのです。倍稼ぐ方が増えてくれば、これが人口増と同じになるのです。現在の生産性は東京と鳥取で倍近く違うのです。立川市の生産性

も良いように見えますが実際は良くないので、将来的には色々な課題が出てくる可能性があるといふ事なのです。ここで産業界に大きく影響してくるのがAIなのです。これは既存業務が衰退して新規業務が発展するといふ事で、新しい時代への対応が重要になってきます。先日新聞で掲載されていましたが、様々な花形業種が淘汰される可能性を秘めており、AIは生産労働人口が減っている中それを補完する可能性が高いのです。といふ事は新たな価値を持つ業務を作り出す必要性があり、この5年が重要だと思えます。金融機関ももう少しすると店舗すら無くなる可能性もあり、いずれ全てキャッシュになります。現在は自販機でお茶が一本売れたら、一本売れたといふデータしか残りませんが、カードで買えばその人の情報が全て収集出来るようになり、これがまさしくビッグデータであり、これを解析するのがAIであるのです。現在任されている機関では、MRIでは様々な癌のデータが取れるようになっているとか、AIの技術で判別が出来、その後の手術も自動化される可能性があるので、医者の医療が変わる可能性があるのです。また自動車では電気自動車になると部品数が半分ぐらいになる可能性もあるので、Googleが自動車産業に参入し、新たな自動車メーカーが日本企業を脅かす可能性もあるのです。エンジン部品と電気モーターを作る会社は全く別なので、半分どころか大半が無くなってしまふ可能性もあるのです。こういった事は、トップがチャンスと見て色々な変革や価値創造を進めていくと良くなりますが、何もしないとピンチになるのです。歴史的に見ても戦国時代の織田信長は、槍で戦う接近戦から鉄砲で戦う長距離戦で勢いを増し、士農工商いふ身分制度の変革が国の統一の主役になりうる状況を作り出しましたが、若い人がキャリアのある人に勝てる人に勝てる可能性があるといふ事で、人によってチャンスにもピンチにもなるいふ事なのです。当金庫は貸金がこの7年で1970億増え、預金・貸出金も増え、不良債権比率も次期には1%を切る水準になろうとしています。ビジネスモデルを大きく変えた結果ですが私達はどのようにしたかといふと、信用金庫は共同組織なのですが、利用者保護が大前提ですここを強化しました。お客様の課題を解決しコンサルティング機能でお客様を守る体制を築いたために、結果として不良債権比率も下がり桁違いの業績となりました。中小企業は全て自分でやってしまつては駄目なのです。自分でやる物と、外のネットワークを使う物を分けるいふ事が大切なのです。当金庫には3万人の専門家がおりますので、その方々に中小企業のための事業支援やまちづくり、資産家のための資産管理支援をしてもらっています。これが一つのビジネスモデルです。では皆様方は何をしていたら良いのかといふ事ですが、成熟社会は経営力を強化しないと駄目だと思えます。地方では経営力強化とはいいません。そうなるに経営力の

ある会社は移転してしまいますので、まず地域力強化を訴えます。地域力を強化するための経営と経営力を強化する経営は全く違います。経営力の強化は、一番は本業を徹底的に強化しなければ駄目なのです。しかしそれでは限界が見えますので、第二創業といって副業も強化する事も必要で、カネボウや富士フィルムがそうです。ここで重要なのは「自分でやっては駄目」という事です。自分でやってきた事は、これでいいと思いついてしまうからです。しかし第三者が見ると駄目具合がすぐ分かるのです。その最たるものが金融機関だったりするのです。この第三者のチェックが重要なのです。当金庫でもこれを実施する事で、他行では減っている融資額も増えているのです。あるいは売り上げ先が少ない場合は売り上げ先も紹介して商社的な事もします。あるいは海外進出のための応援もしています。経営者がお客様目線で顧客企業の問題解決に取り組むと、色々なものが見えてくるのです。つづいて、本業外の活用です。毎月払う人件費ですがこれを不動産賃貸等の本業外の収益で賄える体制を作る事です。これでライバルがいなくなったら、価格水準も元に戻せば良いのです。続いて、

社員の潜在能力を上げる事です。上下2割を除いた残りの真ん中の6割の社員がどう変わるかが重要です。成果主義を強化する事で固定費だった人件費が、変動費になるのです。つまり業績変動になるのです。ここを取り組まないと企業競争力の強化にはつながりません。生産性の高い人物は、給与を上げれば上げるほどお金を稼ぐのです。当金庫も給与を上げてから収益も上がりました。Jリーグも一緒です。選手一人あたりの年棒と成績は比例しています。給与の分配を誤ると、また賃金を抑制しようとした時には、元気な企業にはなりにくいという事なのです。あと自己資本を強化する事です。債務超過ではお金を借りられなくなります。金融機関のネットワークを活用するまた外部のネットワークを活用する事、人・物・金・情報をうまく活用していく事で自身の企業も強化され、それに伴って地元も強化されますし、その事で住民も豊かになり市の資産も上がっていきます。

こういった正の循環を生むのは、地元企業の双肩に掛かっているのです。是非地域力を高めるため、子孫の生活の安定のために尽力される事をお願い致します。

東京三鷹RC創立50周年記念式典

9月26日(火)京王プラザホテル東京にて東京三鷹RC創立50周年記念式典が開催されました。当日は記念式典、池上彰さんの記念講演、祝賀会が行われ、中野裕司会長を始めとする立川RCの12名のメンバーが参加しました。



■ 事務局／東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
【TEL】 042-525-4046 【FAX】 042-529-2666
【HP】 <http://www.tachikawa-rc.org/>
【E-mail】 ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp

■ 例会場／東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川
TEL : 042-527-1111
■ 例会日／金曜日 12 : 30点鐘
会長／中野裕司 幹事／田中太 会報担当者／安藤永一委員長